



創立当時の大阪商業講習所校舎(立売堀)



大阪商業講習所跡



有形文化財1号館



有恒会創立130周年記念誌

## 恒心・継承・飛翔

### 有恒会創立130周年

1880年に大阪市立大学の源流となる大阪商業講習所が設立されました。10年後には当学の同窓会組織(現在の有恒会)が設立され、2020年に創立130周年を迎えます。130年の歴史に培われてきた伝統と人材は有恒会の宝物です。この人材パワーを最大限に生かし、有恒会130周年記念事業として以下のことを行います。

#### 1. 130周年キャッチフレーズを決定

皆様から130周年キャッチフレーズを募集しました結果、上段にありますように「恒心・継承・飛翔 有恒会創立130周年」をキャッチフレーズとします。

#### 2. 記念誌の発刊

皆様からの温かい寄稿や過去の掘り起こしを基に、130周年記念誌を2020年4月に発刊できるようになりました。ご協力ありがとうございます。

#### 3. 有恒会アワード

顕著な支部活動を行った支部を表彰する有恒会アワードも、多くの支部が表彰されており心強いものがあります。

有恒会アワードは3年間にわたるイベントですので、今後も各支部の活動を期待しています。

#### 4. 有恒会総会のWeb中継

2020年5月23日開催の有恒会総会をWeb中継することにより、東京でも総会を視聴することが可能になります。

## 本年度の活動にあたって



### 有恒会会長 岡本直之

本年は、わが有恒会にとって創立130周年にあたる記念すべき年です。しかしながら、近年の会員の高齢化、現役世代層の同窓会離れは有恒会も例外ではなく、収支改善を踏まえ組織力の強化が喫緊の課題となっています。

一方で、創立140周年を迎えた母校大阪市立大学は府立大学との統合を控え、そのプレゼンス向上のため、また大学支援を旨とする全学同窓会においてもその中核的存在である有恒会の果たすべき役割はますます大きくなっています。

このように、有恒会を取り巻く環境は大きく変化していますが、ここまで130年の永きに亘り、有恒会を育んでいただいた諸先輩はじめ、関係各位に対する感謝の気持ちを新たに、今後のさらなる発展を期する契機とするために、“身の丈に合った”記念事業を行うこととしました。

事業スローガンは、会の名称の由来に鑑み『恒心 継承 飛翔』とし、「常に変わらぬ正しい心を有する者」が、「輝かしい伝統を受け継ぎ」、「将来に大きく羽ばたく」ことを目指して諸事業に取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

## 運営本部の取り組み

創立130周年の記念すべき年にあたり、原点に立ち振り返り記念事業の確実な遂行と、大学統合を控えた同窓会の在り方を見据え、本年度の基本方針を以下に記します。

### 1. 原点回帰

同窓会活動の原点に立ち振り返り、同窓生の懇親、交流を深めます。ひとりでも多くの同窓生の参加のための支部網の整備と、若手、女性会員等、幅広い層の参加のための支部活動の支援を継続強化します。

### 2. 大学支援

同窓会活動を通じ、高まる母校への思いを大学支援につなげます。140周年記念事業への協力に加え、統合後の新大学を視野に、全学同窓会の中核として在学生支援に注力するとともに、各種共催行事で連携協力していきます。

### 3. 新しい有恒会

2年後の大学統合を控え、有恒会がいかにあるべきか、広く、深く検討を重ね、将来設計を行います。

存続の前提条件となる収支改善対策と関連し、事業の見直し、体制整備について引き続き検討を加えます。

以上、役員、評議員および会員各位、並びに大学、関連諸団体の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

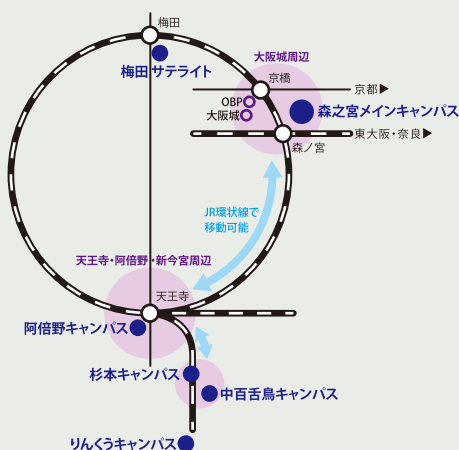
## 新大学の動向

今年2月の大阪府、大阪市両議会で大阪市立大学と大阪府立大学の統合新大学が2年後の2022年春に開学することが正式に決まった。これを受け、近く注目されている大学名も決定し、今年10月末には文部科学省に新大学設置認可を申請、開学準備を加速する。大阪の発展を牽引する「知の拠点」として都市シンクタンク機能と事業の創出などを支援するインキュベーション機能を持つ、国際力のある新大学が目標で、世界大学ランキング200位を目指す。

今年1月に発表された「新大学基本構想」によると、新大学は1学域、11学部、15研究科。学生数は約1万6000人、教員約1400人。学部入学定員数では国公立大学では大阪大学、東京大学に次ぐ全国第3位となり、大阪を牽引する全国ナンバーワンの公立大学の実現を目指す。

メインキャンパスは、2025年度をめど

に整備する「森之宮キャンパス」。基幹教育、文学、リハビリ学、生活科学のほか、先の2つの機能のプラットフォームとし、約7000人の学生が活動する「都心キャンパス」とする意向。また、工学部、農学部系は中百舌鳥キャンパス、社会科学、理学部系は杉本キャンパス、医学、看護学部系は阿倍野キャンパスにそれぞれ集約する予定だ。



## 新法学科長の紹介



### 安竹貴彦

(専攻 日本法制史)

1982年に本学法学部に入学、1991年に助教授として採用され、以後、人生の3分の2以上をこの法学部・研究科とともに過ごしてまいりました。今年度は新大学設置に向けた作業が本格化しますが、同僚や職員、学生・院生そして卒業生のみならず、これまで培われた良き伝統と、学部内に吹く「学問の風」を絶やさぬよう微力を尽くしたいと思います。

## 有恒会創立130周年記念総会・懇親会ご案内

2020年5月23日(土)12時30分(受付12時)から田中記念館ホールにおいて、有恒会創立130周年記念総会を行います。

今回の講演テーマは「2022 統合後の大学・有恒会を語る」です。また、総会後の懇親会は1号館前庭特設会場(雨天室内)を予定しています。野外での楽しいひと時を満喫してください。今回は、記念すべき130周年総会です。数多くの皆様のご参加をお待ちしています。

総会は杉本キャンパスの田中記念館ホールが会場ですが、Web会議の導入により、東京でも視聴できるようになりました。今まで以上に総会への参加が容易になりますので、総会へのご参加よろしくお願いします。

※ご出席の方のみ同封はがき(もしくはメール・FAX)にてご返信ください。

## 2020年度 商経講座の開催予定



2020年度も以下の要領で商経講座を開催します。来年度は大学統合に伴うカリキュラム変更が行われる予定なので、商経講座が開催されなくなる可能性があります。このことから、商経講座運営委員は今年度の講師選定に特に力を入れています。

最近の講師の傾向として、一般企業に入社後、新たな自分の可能性を試すべく起業されたり、資格を取られたりして充実した社会人生活を送られている方が多いようです。

今年度は右記の方々に講師をお願いする予定となっていますので、興味のある方はぜひご参加ください。昨年度と開催日時が異なっていますのでご注意ください。

①日時 2020年10月～2021年1月  
木曜日第4限目(15:15～16:55)

②講義方式 14人の講師による14回の講義  
(1人の講師は1回の講義)

③教室 杉本町学舎本館地区の田中記念館 1階ホール

④講師予定者(13名)

花井 健 (商昭52卒) 商友会会長

(株)アシックス社外取締役他

生田篤史 (商平24卒) (株)エッジイノベーション 代表

植田麻友 (法平23卒) 司法書士

大山真弘 (経平19卒) プルデンシャル生命保険(株) 課長

小川正弘 (商平16卒) ライナ(株) 社長

唐木志延夫 (経昭55卒) オーロラサウンド(株) 代表取締役

窪添伸一 (法昭60卒) (株)SUMCO執行役員(元住金)

玉井得雄 (法昭55卒) (株)大阪市開発公社 社長

玉田玉秀齋(法Ⅱ) 講談師

中定 篤 (理平18卒) (株)VALT 社長

中村一仁 (医平10卒) 医師(医)村田病院脳神経外科部長

西浦けい子(生昭61卒) (株)マンダム ダイバーシティー推進室長

湯原政文 (商昭53卒) (株)日立システムズパワーサービス  
取締役

## 2020有恒会アワード決定 京滋支部が「優秀賞」を受賞!

有恒会創立130周年記念事業の一環である“有恒会アワード”は、同窓会全体に有意義な実績をあげられた支部に対して、3年間にわたり表彰させていただくものです。優秀賞1支部と特別賞6支部は、5月23日の総会で表彰されます。

●優秀賞は京滋支部

「半世紀にわたる旧三商大合同懇親会」

旧三商大である京滋支部と如水会京都支部、凌霄会京滋支部



が開催している合同懇親会は、昭和46年から50回を数え、旧三商大の歴史と伝統を次世代へ引き継ぐ功績が高く評価された。

●特別賞の6支部は以下の通りです。

① 北陸支部「新支部の発足を支えた広域支部運営」

② 福岡支部「支部総会への保護者の参加」

③ 南大阪支部「大学行事への参加・支援」

④ 北摂支部「多彩な活動による会員間の交流促進」

⑤ 静岡支部「広域エリアをカバーする支部活動」

⑥ 湘南支部「新支部として目指す地域に根付いた活動」



## 新支部長紹介

### 長崎支部長 古河幹夫さん（経昭52卒）



大学院（京都の大学院）修了後しばらく就職浪人を経験しました。すでに結婚し子供もいたため、大学教員の道は無理かもと諦めかけていたころ、縁あって長崎県立大学に就職。関西に戻りたいと何度も願ったが、地域の地場産業（窯業）との連携や大学改革に熱心に取り組み、この地での出会いを大切にしてきました。振り返れば、大学で夢を育み妻と出会い、公立大学での仕事に情熱を見出した人生でした。九州でなにかが縁があればと思っています。

## 有恒会130年記念事業協賛御礼

令和元年5月以降、有恒会会員の皆様の多くの熱心な投稿記事を頂きお陰様で記念誌が完成、皆様の手元に発送の運びとなりました。市大荒川学長vs府大辰巳砂学長対談、中瀬教授による「有恒会の歴史」や五代友厚像建立PJを中心とするこの10年の出来事、クラブOB会・ゼミの思い出等、充実した内容になりました。また、5月の記念総会では各学科長による「新大学への取り組み」に関するシンポジウムや関東地区とのリモート総会等を予定しています。記念事業への皆様方の協賛金、記念誌への広告掲載等に改めて厚く御礼申し上げます。なお、協賛金については引き続き今年度中、受け付けておりますので宜しくお願い致します。

## 大口のご寄付をいただきました



令和元年6月にお亡くなりになりました早川八朗様（昭17年旧制大阪商科大学学部卒）のご遺族の方から、有恒会に多額のご寄付をいただきました。改めて感謝申し上げます。



平成29年12月にお亡くなりになりました藤本典彦様（旧姓根来様：昭35年文学部卒）のご遺族の方から、有恒会に130周年記念事業協賛金として多額のご寄付をいただきました。改めて感謝申し上げます。

引き続き、有恒会は、ご両名様のご遺志に沿える活動を行ってまいります。

## 大阪市立大学創立140周年事業紹介

1880年に設立された大阪商業講習所を源流として、大阪商科大学、大阪市立大学と変遷を重ね、2020年に創立140周年という大きな節目を迎えました。

140年という長い歴史と伝統を大切に、これまでの本学の歩みとこれからの歩みを展望し、夢基金を通じ様々な周年事業を展開していきます。

（主な周年事業）

1. 大阪市立大学創立140周年記念式典の開催
2. 国の登録文化財である1号館講堂の改修
3. 全天候型グラウンドの整備
4. 大学史資料先行展示スペースの整備

創立140周年記念事業の成功に向け大阪市立大学夢基金へのご寄付をお願いいたします。

・お問い合わせ先

〈田中記念館1階〉大阪市立大学大学サポーター交流室

電話：06-6605-3415

E-mail：yumekikin@ado.osaka-cu.ac.jp

## 同窓会・有恒会スケジュール（2020年）

|         |                                       |
|---------|---------------------------------------|
| 5月 23日  | 有恒会創立130周年記念総会・終了後懇親会<br>（田中記念館1号館前庭） |
| 7月 4日   | 公務員OBOGとの学生交流会                        |
| 7月 18日  | ビジネス交流会in大阪                           |
| 8月 22日  | 教員研究会                                 |
| 9月 26日  | 五代友厚伝出版記念式典・記念碑除幕                     |
| 11月 3日  | ホームカミングデー（杉本キャンパス）                    |
| 11月 3日  | 全学同窓会総会                               |
| 11月 28日 | 民間企業勤務OBOGとの学生交流会                     |

次の集まり、式典は延期されました

（4月10日予定）戦没学友の碑 献花の集い

（5月9日予定）大阪市立大学創立140周年記念式典

## 編集後記

今年は大学140周年、有恒会130周年を迎え、記念行事が盛りだくさん。特に5/23の有恒会記念総会では文系5学科長が統合後の新大学の姿を論じてもらいますのでご期待ください。しかしながら年初来の新型コロナ対応により、恒例の支部代表者会議は中止。大学も卒業式・入学式が中止。他の行事も軒並み中止・延期の羽目になっています。編集部としてもテレワーク活用等で、何とか最終段階に入っていた130年記念誌とニューズレターの発行にこぎ着けました。一方、支部は関東地区で横浜・埼玉・千葉支部が新たに加わり、国内は39支部に。有恒会アワードも2年目を迎え、記念総会で表彰されます。同窓生の活動がますます活発になるべく、サポートしてまいりますので協力宜しくお願いします。（編集人）

## 投稿のご案内

皆様方の近況・ご意見を投稿を「読者の声」欄に掲載しますので奮ってご投稿ください。（200字程度） 投稿先：kaiho-b@ado.osaka-cu.ac.jp